

令和8年度

佐賀県小・中学校学習状況調査 及び 全国学力・学習状況調査

－ 調査結果 と 指導改善のポイント －

小学校算数科

- 1 はじめに
- 2 調査結果の概要
- 3 成果が見られた設問
- 4 課題が見られた設問
 - ・ 誤答例と児童のつまずき
 - ・ 指導改善のポイント
- 5 同一児童の経年比較
- 6 おわりに

1 はじめに

佐賀県教育委員会では、児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、佐賀県小・中学校学習状況調査を行っています。

また、全国学力・学習状況調査の結果と一体的に分析することで、各学校における学力向上に向けた検証改善サイクルの確立につなげています。

令和8年度
学校における
学力向上の
検証改善サイクル

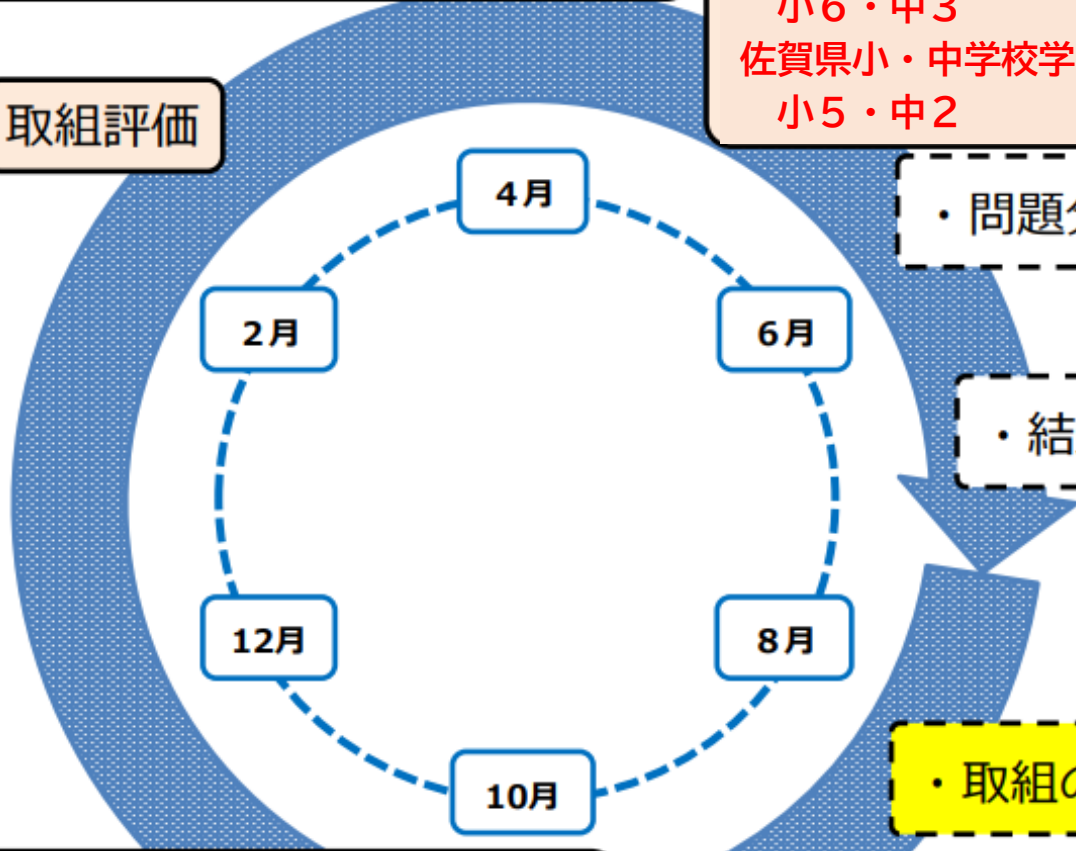
○1年間の大きな
サイクルの中で、
個々の取組に関
する小さな検証
改善を行う

検証改善サイクルを
確立・機能させるこ
とにより、児童生徒
の学力向上を図りま
しょう。

・課題解決に向けた取組の共通認識、
円滑な取組のスタート(評価シート)

【令和8年4月23日】
全国学力・学習状況調査
小6・中3
佐賀県小・中学校学習状況調査
小5・中2

取組評価



○「評価シート」の効果的な活用による改善に向けた取組の徹底

・改善に向けた取組

2 調査結果の概要

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《教科全体》

小5算数

年度	県平均正答率	目標値
R 8	58.1 %	62.2 %
R 7	62.2 %	65.9 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

-4.1

-3.7

※目標値・・・学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童の割合

R8の県平均正答率は、目標値を4.1ポイント下回った。
また、R7と比べると、目標値との差が大きくなった。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《観点別》

知識・技能

小5算数

年度	県平均正答率	目標値
R 8	63.6 %	67.0 %
R 7	64.7 %	68.5 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

－3.4

－3.8

R8の県平均正答率は、目標値を3.4ポイント下回った。
しかし、R7と比べると、目標値との差が小さくなった。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《観点別》

思考・判断・表現

小5算数

年度	県平均正答率	目標値
R 8	42.9 %	48.8 %
R 7	55.9 %	59.4 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

－5.9

－3.5

R8の県平均正答率は、目標値を5.9ポイント下回った。
また、R7と比べると、目標値との差が大きくなった。

佐賀県小・中学校学習状況調査（県調査）

《領域別》

小5算数

領域	年度	県平均正答率	目標値
A 数と計算	R 8	59.0 %	62.1 %
	R 7	65.4 %	68.6 %
B 図形	R 8	59.5 %	65.7 %
	R 7	56.7 %	62.2 %
C 変化と関係	R 8	60.8 %	65.0 %
	R 7	60.0 %	63.3 %
D データの活用	R 8	48.3 %	53.8 %
	R 7	62.7 %	61.7 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

-3.1

-3.2

-6.2

-5.5

-4.2

-3.3

-5.5

+1.0

R8の県平均正答率は、全ての領域で目標値を下回った。
しかし、R7と比べると、「数と計算」で改善が見られた。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《教科全体》

小6算数

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R8	52 %	56.4 %
R7	54 %	58.0 %

目標値との差
(県平均正答率－目標値)

-4.4

-4.0

※全国調査の教科全体の県平均正答率は、文部科学省から整数値で提供されています。

R8の県平均正答率は、全国平均正答率を4.4ポイント下回った。
また、R7と比べると、全国平均正答率との差が大きくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《観点別》

知識・技能

小6算数

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R 8	56.0 %	60.1 %
R 7	61.3 %	65.5 %

全国平均正答率との差
(県平均正答率－全国平均正答率)

-4.1

-4.2

R8の県平均正答率は、全国平均正答率を4.1ポイント下回った。
しかし、R7と比べると、全国平均正答率との差が小さくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《観点別》

思考・判断・表現

小6算数

年度	県 平均正答率	全国 平均正答率
R8	40.8 %	45.4 %
R7	43.9 %	48.3 %

全国平均正答率との差
(県平均正答率－全国平均正答率)

－4.6

－4.4

R8の県平均正答率は、全国平均正答率を4.6ポイント下回った。
また、R7と比べると、全国平均正答率との差が大きくなった。

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《領域別》

小6算数

	領域	年度	県平均正答率	全国平均正答率
A	数と計算	R 8	56.8 %	61.1 %
		R 7	57.9 %	62.3 %
B	図形	R 8	50.0 %	55.3 %
		R 7	52.9 %	56.2 %
C	測定	R 8	74.5%	78.1 %
		R 7	51.4 %	54.8 %
C	変化と関係	R 8	36.1%	41.1 %
		R 7	52.2 %	57.5 %
D	データの活用	R 8	44.2 %	48.6 %
		R 7	57.7 %	62.6 %

全国平均正答率との差
(県平均正答率－全国平均正答率)

-4.3

-4.4

-5.3

-3.3

-3.6

-3.4

-5.0

-5.3

-4.4

-4.9

R8の県平均正答率は、全ての領域で全国平均正答率を下回った。
しかし、R7と比べると、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」で改善が見られた。

第5学年では、令和7年度の県調査結果と比べると、以下の点において、改善が見られた。

- 観点別の県平均正答率（「知識・技能」）
- 領域別の県平均正答率（「数と計算」）

第6学年では、令和7年度の全国調査結果と比べると、以下の点において、改善が見られた。

- 観点別の県平均正答率（「知識・技能」）
- 領域別の県平均正答率（「数と計算」「変化と関係」「データの活用」）

3 成果が見られた設問

※ 目標値や全国平均正答率との差が大きかった設問を取り上げています。

- ◇小数を10倍した数を求めることができる。（小5）
- ◇示された考えをもとに、 180° より大きい角の大きさを求めている。（小5）
- ◇立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる。
（小6）

4 課題が見られた設問

※ 目標値や全国平均正答率との差が大きかった設問や、これまで県の課題とされ、令和8年度も指導改善が必要と考えられる設問を取り上げています。

- ◆身近にあるもののおよその面積を推測することができる。（小5）
- ◆直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる。
（小6）
- ◆2つの二次元表から、すりきずがいちばん多かった時間と場所を読み取り、説明している。（小5）
- ◆基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる。（小6）

指導改善のポイント

面積や体積などに対する感覚を豊かにし、量の概念（広さ、大きさ、かさなど）を理解できるようにするために、

- 身の回りの面積や体積を量の単位と関連付け、量の概念をイメージできるようにする指導を行う。
- 1 cm^2 、 1 m^2 、 1 cm^3 など、基準となる大きさを提示し、いつでも確認できるようにする。
- 図形の敷き詰めや立体の作製など、手を動かして図形の性質を確かめることができるような操作活動を設定する。

指導改善のポイント

目的を明確にして必要な情報を読み取ったり、読み取った情報を根拠に考えを説明したりできるようにするために、

- 目的を明確にし、集める資料の条件を考えたり、目的に合った分類の観点を選んだりする活動を設定する。
- 根拠となる数値や項目を明らかにし、各項目の数値がもつ意味について説明し合う活動を設定する。
- 「データの活用」領域だけでなく、ほかの領域においても、目的に応じて観点を設定し、図や表に整理する指導を行う。

指導改善のポイント

二つの数量の関係について考察し、その関係を適切に表したり捉えたりできるようにするために、

- 条件や数値を変化させて、繰り返し考える場面を設定し、数量の関係についての理解を深める指導を行う。
- 提示された図や数直線を基に「どのような問題や状況が考えられるか」を表現する活動を設定する。
- 「変化と関係」領域や「測定」領域だけでなく、ほかの領域においても、数量の関係などを図や表に整理して考察する指導を行う。

5 同一児童の経年比較

〈 県調査結果と全国調査結果との比較 〉

	小学校			中学校		
学年	第1学年～ 第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
県調査 (4月実施)	第4学年までの 学習における 「強み」「弱み」 の把握	国語 算数		第1学年までの 学習における 「強み」「弱み」 の把握	国語 数学 英語	
全国調査 (4月実施)		課題が解決したか、 確認と振り返り	国語 算数 (理科)		課題が解決したか、 確認と振り返り	国語 数学 (理科・英語)

() 内教科…3年に1回実施

各学校において、経年比較における分析も行ってみましょう。

5 同一児童の経年比較

〈 R 8 全国調査結果と R 7 県調査結果との比較 〉

領域	R 8 全国調査 対全国比※1	R 7 県調査 対全国比※2	R 8 - R 7
A 数と計算	0.93	0.93	0
B 図形	0.90	0.89	+ 0.01
C 変化と関係	0.88	0.89	- 0.01
D データの活用	0.91	0.93	- 0.02

※1 全国調査対全国比 … 県平均正答率÷全国平均正答率

※2 県調査対全国比 … 県平均正答率÷調査に参加している児童（各教科約10万人）の平均正答率

参考として、対全国比で比べると、「図形」で改善が見られた。

6 おわりに

まずは、以下の点において指導改善を図りましょう。

- ◆ 数量の関係を捉えることができるようにするために、児童自身が項目を設定し、図や表に整理する活動を設定する。

「式を立てるために、どのような数直線にできるかな？」
「どのような表にすると、分かりやすくなるかな？」など

- ◆ 単元のまとまりの中で大切な用語を意識し、根拠を明らかにして説明し合う活動を設定する。

「（面積の求め方が分からない図形を）面積を求めることができる図形に変形する」
「まとまりを1とみる」「1当たりで考える」など

佐賀県
教育センター

サイト内検索

検索ワードを入力してください

各種研修

受講のための情報

受講者へのお願い

オンデマンド受講者専用ページ

駐車場の利用について

申込等各種手続

授業に役立つコンテンツ

授業に役立つ実践研究

学習評価の進め方

SAGAせ～る指導案

学習状況調査

授業に役立つ実践研究



プロジェクト研究

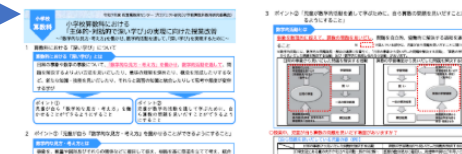
	校種	教科・領域	研究主題：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 【今年度の研究について】
	小学校	各教科	【小学校国語科】 授業改善に役立つコンテンツ NEW
			【小学校算数科】 授業改善に役立つコンテンツ NEW
	中学校	各教科	【中学校国語科】 授業改善に役立つコンテンツ NEW
			【中学校数学科】 授業改善に役立つコンテンツ NEW
			【中学校英語科】 授業改善に役立つコンテンツ NEW
個別実践研究（教育センター所員がチームを組んで取り組んだ研究）			
	小学校	各教科	児童生徒が、各教科における資質・能力を身に付けるための授業づくり ～指導と評価の一体化を図る授業改善に向けて～ NEW
	中学校		児童生徒が、各教科における資質・能力を身に付けるための授業づくり ～指導と評価の一体化を図る授業改善に向けて～ NEW
			図画工作科、外国語科
			理科、音楽科、美術科

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

小学校算数科では、令和7年度、児童が、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を身に付けることができるようにするために、「深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図るためのコンテンツを開発しました。

日々の授業づくりに、ぜひ、御活用ください。

○小学校算数科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～「数学的な見方・考え方」を働かせ、数学的活動を通して、「深い学び」を実現するために～

小学校
算数科

令和7年度 佐賀県教育センター プロジェクト研究(小学校算数科教育研究委員会)

小学校算数科における
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
～「数学的な見方・考え方」を働かせ、数学的活動を通して、「深い学び」を実現するために～

1 算数科における「深い学び」について

算数科における「深い学び」とは

日常の事象や数学の事象について、「**数学的な見方・考え方**」を働かせ、**数学的活動を通して**、問題を解決するよりよい方法を見いだしたり、意味の理解を深めたり、概念を形成したりするなど、新たな知識・技能を見いだしたり、それらと既習の知識と統合したりして思考や態度が変容する学び

ポイント①

児童が自ら「**数学的な見方・考え方**」を働かせることができるようにすること

ポイント②

児童が数学的活動を通して学ぶために、自ら算数の問題を見いだすことができるようにすること

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つコンテンツ、指導と評価の一体化を図るためのコンテンツなど、今すぐ使えるコンテンツが満載です。

佐賀県
教育センター

サイト内検索

検索ワードを入力してください

各種研修

受講のための情報

受講者へのお問い合わせ

オンデマンド受講者専用ページ

駐車場の利用について

申込等各種手続

授業に役立つコンテンツ

授業に役立つ実践研究

学習評価の進め方

SAGAせ～る指導案

学習状況調査

「さがんば」(佐賀県学習問題)

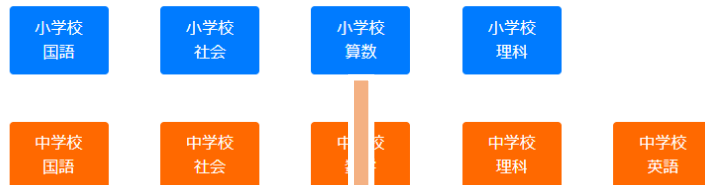


これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査を基に作成されたC B T問題です。
児童生徒が、学習eポータルにサインインして、MEX C B T (メクビット) を使
上で学習することができます。

I 教師用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

II 児童生徒用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

III 問題一覧 ※令和6年3月15日更新



令和5、6年度作成

「さがんば」(佐賀県学習問題) 問題一覧
(佐賀県小・中学校学習状況調査を基にしたC B T問題)

※ 令和4年度以前に作成した佐賀県小・中学校学習状況調査の問題を基に作成しています。
※ 学習指導要領の内容に示されている☆は、令和元年度以前の問題を参考にしています。
※ 平成20年に告示された学習指導要領の内容となります。
※ 評価の観点にある知技は「知識・技能」、思考力は「思考・判断・表現」を表しています。

さがんば No.	タイトル名 ※タイトル名をクリックすると、 問題プレビューが開きます。	校 種 学 年	単元/領域	出題の趣旨	学習指導要領の 内容	評価の 観点	問題形式	チェック
01	「さがんば」(佐賀県学習問題) 算数 小5 整数・小数の記数法	小5	整数・小数の 記数法	小数の意味と表し方について理解 している	☆ 数と計算(5)ア (3年)	○	○	
				小数の数の仕組みを理解している	☆ 数と計算(5)ア (4年)	○	○	
				整数と小数の大小関係を理解して いる	☆ 数と計算(5)ア (4年)	○	○	
02	「さがんば」(佐賀県学習問題) 算数 小5 立体図形の体積01	小5	立体図形の 体積	体積を求めることができる	数と計算(3)ア (7)(3年) 図形(4)ア(イ)	○	○	
				体積の単位とかさの単位の関係を 理解している	図形(4)ア(ア)	○	○	
				m3で表された体積をcm3で表す ことができる	図形(4)ア(ア)	○	○	
				体積の關係に着目し、示された考 えが正しくない理由を説明すること ができる	図形(4)イ(ア)	○	○	

「さがんば」(佐賀県学習問題) 算数 小5 整数・小数の記数法 問題: 1/3

10.2という数について、かずやさんとみさきさんは、次のように説明しています。

かずや: 10.2は、10を「ア」こ、0.1を「イ」こあわせた数ですね。

みさき: そうだね。それに、10.2は、「ウ」を102こあつめた数でもありますね。

左のア、イ、ウに当てはまる数を答えましょう。

(答えは次のそれぞれの□に入力しましょう。)

ア

イ

ウ

「さがんば」(佐賀県学習問題) 算数 小5 立体図形の体積01 問題: 1/4

かずやさんは、学級でメダカを飼うことになりました。

かずやさんは、内りの長さが図1のような水そうを準備しました。図1の水そうを準備したあと、かずやさんが、あのように話をしています。

かずやさんが、水そうに入れた水の体積は、どれだけになるか答えましょう。

(答えは次の□に入力しましょう。)

cm³

図1

これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査問題を基に作成されたC B T問題です。

学習eポータルにサインインして、MEX C B T (メクビット) を使い、オンライン上で学習することができます。